

ＬＣＣの拡大や東南アジア諸国へのビザ取得要件の緩和による外国人旅客の増加を背景に、県内ホテルでは高い稼働率が続く。

訪日客の増加が続いている。日本政府観光局によると、14年1月～6月の訪日外客数は、前年同期比+26.4%増加となる626万人にのぼり、上半期としては過去最高となった。これに伴い外国人宿泊者数も増加しており、14年1～3月期（観光庁による現時点での最新値）における外国人の延べ宿泊者数は920万人泊と、前年同期間比+37.3%と増加したほか、宿泊者数全体に占める外国人宿泊者数の割合は8.6%と同調査の開始以来、最も高い数字となった。

千葉県における同期間の外国人延べ宿泊者数は、前年比+28.7%となる55万人泊で、全国では5番目に多い。

成田市内のホテルでは同期間中の客室稼働率が対前年比+10.4%（稼働率：82.6%）と大幅に上昇したほか、浦安市内：同+3.3%（同：89.0%）、千葉市内：同+0.8%（同：77.2%）も伸びた。TDRの30周年イベントが3月末で終了した後も、円高修正やLCCの増便、東南アジア諸国に対するビザ取得要件の緩和などを背景に外国人宿泊者の入込みは高水準で推移しており、「4～5月は満室のため、予約を断らざるを得ないほどだった」（成田市内ホテル）、「都内ホテルが満室で、宿泊できない中国人の団体客の予約が入ってきた」（千葉市内ホテル）、「TDR客は落ち着いたが、訪日客の総数が増えている中で、高い稼働率を続けている」（幕張周辺ホテル）などの声が聞かれている。

この間、外国人宿泊者全体に占める千葉県内の宿泊者数割合をみると、2013年まで連続で低下しており、県内訪日客増加を手放して喜べる状況にはない（下表参照、10年：8.7%→11年：7.8%→12年：6.8%→13年：6.1%）。シェア低下は、訪日が2回以上のリピーター観光客の比率が徐々に高まる中で、地方空港へのLCC就航・増便もあって、リピーターを中心に、宿泊地が首都圏から地方へ分散しつつあることが原因であると考えられる。すなわち、初回訪日客は、現在でも所謂ゴールデンルート（関西空港から入国して、京都・富士山・伊豆箱根などを経由し、最後にTDRを訪問、秋葉原等で買い物をして成田から出国する人気ルート。成田入国→関西出国のコースもある）を辿るツアー客が主体であるが、リピーターについては、①前回周遊していない地域、あるいは②前回周遊してお気に入りの地域を巡るケースが多いため、ゴールデンルート上では②の目的で訪日する観光客に対して、上手く魅力をアピールしている地域が勝ち組となっている。下表中、関西（京都・大阪）の宿泊客シェアが増えているが、これは関西空港のLCC増便効果のほか、後祭り巡行が復活して注目の集まる京都の祇園祭りやアトラクションの充実するUSJなど、イベントや観光資源の魅力が訪日客を誘引しているものと思われる。

海外の玄関口となる成田空港を擁する本県では、成田市内のホテルを中心に、入国直後あるいは、観光を終えて出国する際に前泊する初来日客に対する強みを発揮しているものの、観光面では、TDR以外の観光を目的とする外国人宿泊需要を捉えきれていない。

10月に知事による台湾へのトップセールスが予定されているほか、マレーシアの学生との交流による観光情報の発信などの外国人観光客の誘致活動が積極的に進められているが、本県としては、交通アクセスの拠点としてだけではなく、県内の観光地を周遊する宿泊客をいかに増やせるかで、観光立県として真価が問われる。

そのためには、吸引力があるイベント等の開催はもとより、外国人旅客との接点となるホテルのほか、各種交通機関等においても、多言語対応の案内表記や外国語対応能力の向上、無料無線LANの整備などによって訪日客へのホスピタリティを高めることにより、リピーターを醸成するとともに、千葉県の魅力を訴求していくことが求められる。オリンピック開催に向けて、今後も外国人旅客の増加が見込まれ、全国で観光プロモーションが繰り広げられる。千葉県においては大型国際空港を擁する優位性を活かし、これまで以上に県内の魅力ある観光資源の創出に取り組みたい。（下出）

外国人延べ宿泊者数 (人数:千人 シェア:%)

	2010年	2011年	2012年	2013年	13年-10年
全体	26,023	18,416	26,314	33,511	7,488
千葉県	2,254	1,430	1,795	2,050	-204
(シェア)	8.7	7.8	6.8	6.1	-2.5
東京都	8,720	5,652	8,292	9,831	1,110
(シェア)	33.5	30.7	31.5	29.3	-4.2
北海道	2,055	1,584	2,012	3,070	1,014
(シェア)	7.9	8.6	7.6	9.2	1.3
京都府	1,435	1,053	2,305	2,626	1,191
(シェア)	5.5	5.7	8.8	7.8	2.3
大阪府	3,093	2,365	3,061	4,315	1,222
(シェア)	11.9	12.8	11.6	12.9	1.0
沖縄県	442	561	781	1,488	1,045
(シェア)	1.7	3.0	3.0	4.4	2.7

(観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに株式会社ちばぎん総合研究所が作成)